

チーム A 福島1位、東北大会2回戦敗退	75	15	1ST	25	76	チーム B 新潟1位、北信越大会2位
県立 福島商業 (10年振り3回目)		20	2ND	17		県立 新潟商業 (15年連続19回目)
		26	3RD	15		
		14	4TH	19		

スターター(平均身長 178.8cm)

番号	身長	P	学年	出身中学	得点
4番	178cm	GF	3年	(二本松一)	27
5番	180cm	CF	3年	(北信)	11
6番	173cm	PG	3年	(信夫)	2
7番	185cm	CF	3年	(清水)	16
8番	178cm	SF	3年	(信夫)	4
12番	176cm	PG	2年	(信陵)	8
13番	173cm	SG	2年	(清水)	7

スターター(平均身長 182.0cm)

番号	身長	P	学年	出身中学	得点
4番	178cm	SG	3年	(片貝)	0
6番	187cm	CF	3年	(宮浦)	6
7番	178cm	PG	3年	(葛塚)	18
9番	184cm	PF	3年	(鳥屋野)	19
11番	183cm	SF	2年	(舟栄)	12
8番	178cm	G	3年	(横越)	13
10番	182cm	PF	3年	(分水)	6
13番	190cm	C	2年	(荒川)	2

P : position(ポジション)

第1ピリオド、両チームともにマンツーマンでスタート。新潟商業は#7江部がゴール下へ鋭く切り込み鮮やかなバックシュートで先制。福島商業は、2ガードから横の動き(フレックス)の中で#7ニッセンを中心にoffを組み立てようとするが、新潟商業は#11笠原・#9近藤のシュートで徐々にペースを掴み3分過ぎには13-6とリードを広げる。福島商業は#7ニッセンのインサイドで応戦するがリズムに乗れず、新潟商業が25-15の10点差で第1ピリオド終了。

第2ピリオドは、序盤から両チームとも積極的なプレーで会場を沸かす。新潟商業は、#6小川の内外角のシュートや#11笠原の3pなどでじりじりと差を広げようとする。残り3分16点差になったところで福島商業は2-2-1から2-3ゾーンを仕掛け、リズムを掴む。#4山岸の3pや#8菅野のミドルシュートで追い上げ42-35の新潟商業7点のリードで前半を折り返す。

第3ピリオドに入っても福島商業は前半の好調を継続し、#12齋藤・#13水野のプレーで波に乗る。offも前半の横の動き(フレックス)から縦の動き(シャッフル)に変化し、トップへのバックスクリーンからのボールの展開で活路を見出し、46-43と3点差まで詰め寄る。それに対して新潟商業は冷静なパスワークから#8神田・#9近藤の確実なミドルシュートでなかなか流れを譲らない。またしても残り3分から福島商業はゾーンプレス・ゾーンを敷きボールを奪いに行く。新潟商業はそれに対してトラベリングを連発(4連続)、その隙に福島商業は53-52の1点差に詰め寄る。終了間際にも#4山岸がインターセプトからブザービーター3pを決め57-61と福島商業がこの試合初めてリードを奪い終了。

第4ピリオド互いに譲らずシーソーゲームが続く。残り32秒新潟商業#8神田がゴール下でシュートを決め、74-72とするが、残り13秒福島商業#4山岸が3pを決め74-75と福島商業1点リードで、新潟商業がタイムアウト。残り11秒、新潟商業は最後のプレーにかける。スローイン後、defがスリップしているのを尻目に#8神田が鋭いドライブインで迷わずゴール下に切り込み、新潟商業が76-75。タイムアウトの残っていない福島商業は残り7秒のoffにかけるが、逆転には至らず新潟商業が勝利した。

文責 小野賢一郎

